



学校だより

横浜市立長津田小学校

5月号【第646号】

令和8年4月28日

校長 佐藤 正淳



「共に育み、共に創る」～長津田の絆が照らす子どもたちの未来～

期待と緊張、そしてワクワクとした空気に包まれた四月が過ぎ、校庭の木々が鮮やかな若葉に彩られる季節となりました。新しい環境に少しずつ慣れ、子どもたちの明るい笑顔と元気な声が学校中に溢れていることを、心から嬉しく思います。



地域・保護者の皆様と紡ぐ「共育・共創」の喜び



本校が掲げる「共育・共創」の学校づくり。それは、学校・家庭・地域が手を取り合い、一人の子を複数の眼差しで支え、共に子どもたちの未来を創っていく姿です。

この一ヶ月の間にも、多くのボランティアの皆様を支えられ、豊かな学びの場が生まれています。一年生の給食開始にあたってのサポートや家庭科での調理実習の補助、そして子どもたちが大好きな図書室の環境整備。皆様の温かな関わりは、子どもたちにとって、教職員以外の「かっこいい大人」に出会う貴重な機会となっています。また、日々の下校見守り活動においても、地域の皆様の優しい声かけが子どもたちの安心・安全を守る大きな力となっています。こうした「支え、支えられる」循環するエネルギーこそが、社会を明るく照らす原動力になると私は確信しています。多大なるご支援に、この場をお借りして深く御礼申し上げます。



給食ボランティア:1年生



一年生に寄り添う、六年生のあたたかな心



校内を見渡すと、もう一つ胸が熱くなる光景に出会います。それは、一生懸命に一年生のお世話をする六年生の姿です。

朝の支度を手伝ったり、休み時間に一緒に遊んだり、優しく歩幅を合わせて廊下を歩いたり。最高学年としての自覚と、相手を思いやるあたたかな思いが、言葉を超えて一年生に伝わっています。

駅伝のたすきがランナーの思いを繋ぐように、六年生が示す「生きた手本」は、下級生へと受け継がれ、長津田小学校の校風を創り上げていきます。一人ひとりの個性を尊重し、誰一人取り残さないという思いで寄り添う六年生の姿は、まさに本校が目指す「心豊かな子」の体現であり、私たちの誇りでもあります。



1年生を支える!! :6年生

「子どもたちは未来」です。これからも、保護者・地域の皆様との信頼関係を基盤に、デジタルと対話が育む新たな学び、そして人と人との温かな関わりを大切にしながら、子どもたちが「オンリーワンの強み」を伸ばし、ワクワクしながら歩める学校を共に創ってまいりましょう。今月もどうぞよろしくお願いいたします。



NAGATSUTA
ELEMENTARY SCHOOL

AIチャットボット始めました！

～24時間365日・知りたいことを知りたいときに～

学校生活に関する疑問を、AI が分かりやすくお答えします。

「忘れ物をしたら?」「給食の持ち物は?」など、電話や連絡帳ではなく、すぐに確認できます。是非ご活用ください。※詳細…4/22(水)「すぐーる」配信参照

